

心から『食事が好き』になることを願って

夏井第二小学校

楽しい給食をめざして

夏井第二小学校の給食の目標

に
食事についての正しい理解を
深め、望ましい食習慣を育てる。
食事を通して好ましい人間関
係を育てる。
という目標があります。しかし、

日々の給食の様子を見ていると、
中には野菜が苦手な給食の時間
が苦痛になっているのではない
か、と心配になってしまいうよう
な児童がいます。

本来、食事は人間にとって生
きていく上での基本的なことだ
あるとともに、楽しくてうれし
いものはず。その食事を
子どもうちに嫌いに
なってしまうのでは、
体も心も健康的に成長
できないと思います。

そこで、夏井第二小
学校では、少人数のア
ットホームな雰囲気
あることをいかして各
学期に二回程度、季節
に合った食事を全校生
と一緒に楽しむ「全校給
食」を実施しています。

四月は校庭の桜の木の
下での「お花見給食」。
七月は七夕にちなんだ
献立の「七夕給食」。
十月は地元の人との交
流を図りながらの「い
も煮会給食」。十二月は
地元のミネラル野菜を

健康な体と心は食事が決め手



上田麗子先生の講演から

しさのせいで、いつもは野菜を
食べない児童もびつくりするほ
ど多くの野菜をニコニコしながら
食べる姿が見られました。
これからも児童に食事をする
ことの楽しさ、大切さを実感し
てもらうために、季節にあつた
行事や、良い食材を選んで、楽
しい給食を実施できるようにし
ていきたいと思います。

保護者や地域のひと と一緒に

七月二日にPTA主催の教育
講演会として、栄養士の上田麗
子先生をお迎えして「楽しくお
いしく野菜を食べる小野町っ子」
という題名で、五・六年生の児
童と保護者、地域の人でお話し
をお聞きしました。

上田先生は、健康な体と心は、
食事が決め手！であるとい
うことから、朝食の重要性や、柔
らかい食べ物ばかり食べている
と、歯並びが悪くなるばかりで
なく、脳の活性化が鈍るなどの
お話しや、アレルギー体質を改
善するためには、(にら・にんに
く・玉ねぎ・しょうが)が良いこ
とや、脳を活性化させる食べ物
は(くるみ・ピーナッツ・いわ
し・さば・さんま・まぐろ・大
豆)が良い。というお話しをお
聞きしました。
初めて聞くような内容も多く、



楽しい全体給食

保護者にとっても児童にとつて
も大変勉強になり、日々の食
事を改めて見つめ直す良い機会に
なりました。

最後に

三学期には、小野新町小学校
の志賀敦子先生に各学年を対象
に、食育の授業をしていただき、
さらに児童の食事に対する意識
を高めていきたいと考えていま
す。これからも、子ども達が食
事の大切さを理解し、心から食
事が好きになってくれるような
様々な食の体験を、児童と一緒
にしていきたいと思います。
(記事・小野町立夏井第二小学校

星 美和 先生)